

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年3月19日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年3月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【構内駐車場における当社と協力企業の車両接触について】 当社社員が業務車両点検のため車両を構外に退構させようと、車両のエンジンをかけ左方向に出庫した際、左側に並列駐車中の協力企業業務車両の右前方部と接触。 駐車中の車両に人は乗っておらず、人身災害はなし。また、当社社員にも怪我はなし。 原因は、エンジンをかけ左方向に出庫させようとした際、ダッシュボード上の書類が滑り落ちそうになり、それに気を取られハンドル操作を誤ったもの。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	3月16日
2	<p>【サブドレン一時貯水タンク(K)の入口弁「閉」信号出力不良について】 サブドレン一時貯水タンク(K)の排水中に、集水タンクからサブドレン一時貯水タンク(H)への浄化運転準備のため、一時貯水タンク(H)の入口弁を開状態にしたところ、一時貯水タンク(K)入口弁の「閉」信号が約4秒間切れ、インターロックにより排水が自動停止した。 調査したところ、機器に異常がなく再現性がないことから、一過性のものと判断した。 サブドレン一時貯水タンクは11基あり、設備運用に問題なし。</p>	GⅢ	3月17日